

令和6年度上半期の執行状況

令和6年度上半期(9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況をお知らせします。

一般会計及び特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	163億6,367万円	74億6,411万円	45.6%	61億9,459万円	37.9%
国民健康保険	35億3,960万円	14億8,404万円	41.9%	13億4,676万円	38.0%
後期高齢者医療	4億9,730万円	2億3,716万円	47.7%	1億6,300万円	32.8%
介護保険	30億5,510万円	16億1,741万円	52.9%	12億1,916万円	39.9%
計	234億5,567万円	108億272万円	46.1%	89億2,351万円	38.0%

※下水道事業は、令和6年度から公営企業会計に移行しました。

公営企業会計

会計名		収入			支出		
		予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	執行率
水道事業	収益的収支	8億2,785万円	3億6,166万円	43.7%	7億7,683万円	1億2,033万円	15.5%
	資本的収支	1億5,138万円	0万円	0.0%	5億4,747万円	1億2,830万円	23.4%
下水道事業	収益的収支	3億7,088万円	2億3,940万円	64.5%	3億7,088万円	8,328万円	22.6%
	資本的収支	4億1,978万円	1,188万円	2.8%	4億9,480万円	1億1,675万円	23.6%

※収益的収支は、事業収益を目的とする収支です。資本的収支は、施設整備を目的とした収支です。

※資本的収入の収入率が低いのは、収入のほとんどを占める企業債及び一般会計繰入金等の収入が年度末となるため。

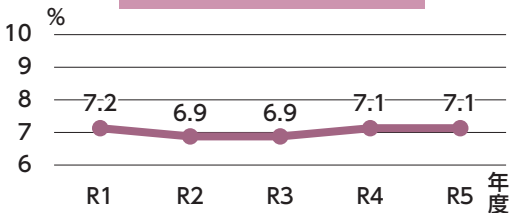
財政健全化比率等の公表

令和5年度決算による財政健全化比率等は、いずれの指標も基準を下回っており健全な状況です。

指標	説明	町の比率	早期健全化基準	備考
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の標準財政規模に対する比率	—	13.74%	赤字額が生じていないため「—」と表示
連結実質赤字比率	すべての会計を対象にした実質赤字額(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率	—	18.74%	赤字額が生じていないため「—」と表示
実質公債費比率	一般会計などが負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率(過去3カ年の平均)	7.1%	25%	
将来負担比率	一般会計などが将来的に支出することが見込まれる額から、充当可能財源を控除した額の標準財政規模に対する比率	—	350.0%	算定されないの「—」と表示
資金不足比率	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	—	20.0%	資金不足を生じた公営企業がないため「—」と表示

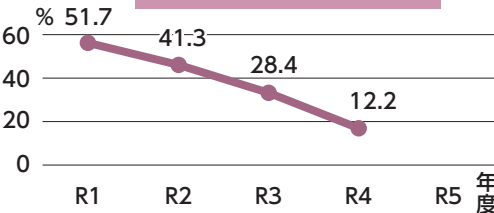


実質公債費比率



前年度と同率の7.1%となっており、ここ5年はほぼ横ばいの状態です。

将来負担比率



将来負担額を充当可能財源等が上回ったため、比率は算定されませんでした。